

講義科目名称： コンテンツデザイン概説 C1-S27-30 D-S21- 科目コード： 17710
30

英文科目名称： Content Design

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1年前期	1	2	選択
担当教員			
折山 良太			
添付ファイル			

講義概要	現在デザインの領域は広域にわたり、そのコンテンツ表現はメディアの発展と共に日々発展し続けています。この講義では広告・映像・音楽・アート・WEB・ゲーム・漫画・アニメなどをさまざまなデザイン領域をテーマに情報メディア・コンテンツイノベーターについて考察し、デザイン表現に必要な視野や知識を学び、新たなコンテンツを生み出す力を養います。		
授業計画	1	初回ガイダンス ・授業のアウトライン：コンテンツデザイン領域の概略説明 ・ガイダンス：「準備学習」および「次回以降に必要なとなる課題演習のエビデンス登録」関連の説明を行います。 準備学習：初回までにシラバスを読み、授業項目や目的を理解しておく 課題演習：配布プリント他で内容を指示する	
	2	視覚伝達1 デザインの要素と原則 「情報の視覚化」をテーマにビジュアルプレストの考え方や手法を学ぶ ・情報の収集と整理 ・ブレインストーミング AL：② 対話型授業2（発表・討論などの学生どうしの対話） AL：④ 授業後に進化発展の自主学習 準備学習：プレストに向けたリラックス！友達さがし！ 課題演習：落書きの体系化～ビジュアルプレスト関連レポートを予定 （※授業毎に配布する資料/演習シートに記載された内容を参照）	
	3	視覚伝達2 デザインの要素と原則 「ユニバーサルデザイン」をテーマにデザインの基本文法「色・かたち」を学ぶ ・カラーユニバーサルデザインガイド AL：① 対話型授業1（教員と学生との対話） AL：④ 授業後に進化発展の自主学習 準備学習：公共の場にあるピクトグラムのリサーチ 課題演習：ピクトグラム関連レポートを予定 （※授業毎に配布する資料/演習シートに記載された内容を参照）	
	4	視覚伝達3 デザインの要素と原則 「ピクトグラム」をテーマにデザインコンテンツを考案する ・ピクトグラム（案内用図記号）〔演習問題〕課題と解説 AL：① 対話型授業1（教員と学生との対話） AL：② 対話型授業2（発表・討論などの学生どうしの対話） AL：③ 反転授業（出題した課題について授業内で解説） 準備学習：公共の場にあるピクトグラムのリサーチ 課題演習：ピクトグラムのリ・デザイン関連レポートを予定 （※授業毎に配布する資料/演習シートに記載された内容を参照）	
	5	デザイン概論1 広告×エディトリアル 「グラフィックデザイン」をテーマにデザイン史を学ぶ ・グラフィックデザイン史 AL：④ 授業後に進化発展の自主学習 準備学習：身近なフォントタイプのリサーチ 課題演習：フォントタイプ関連レポートを予定 （※授業毎に配布する資料/演習シートに記載された内容を参照）	
	6	デザイン概論2 広告×エディトリアル グラフィックデザイン領域から「レイアウトデザイン」をテーマにデザインの基本文法を学ぶ ・レイアウトデザイン～書体/フォント〔演習問題〕課題と解説 AL：① 対話型授業1（教員と学生との対話） AL：③ 反転授業（出題した課題について授業内で解説） AL：④ 授業後に進化発展の自主学習 準備学習：フォントタイプのリサーチ 課題演習：フォントとレイアウトデザイン関連レポートを予定 （※授業毎に配布する資料/演習シートに記載された内容を参照）	

7	デザイン概論3 広告×エディトリアル 広告・印刷メディアなどのグラフィックデザインの基本文法「文字/タイポグラフィ」をテーマに学ぶ ・タイポグラフィ AL:④ 授業後に進化発展の自主学習 準備学習:タイポグラフィ作品のリサーチ 課題演習:タイポグラフィ関連レポート (※授業毎に配布する資料/演習シートに記載された内容を参照)
8	メディア&コミュニケーション1 映像、音、光などの空間エンターテインメントの領域から 「メディアアート」よりメディアアーティストやコンテンツイノベーターの考え方や手法を学ぶ AL:① 対話型授業1 (教員と学生との対話) AL:④ 授業後に進化発展の自主学習 準備学習:「メディアアート」よりコンテンツイノベーターのリサーチ 課題演習:コンテンツイノベーター関連レポートを予定 (※授業毎に配布する資料/演習シートに記載された内容を参照)
9	メディア&コミュニケーション2 デジタルメディアで拡張される虚実空間のデザインの考え方や手法を学ぶ 「拡張現実AR/仮想現実VR/複合現実MR」をテーマにデザインコンテンツを考案する [演習問題] 課題と解説 AL:① 対話型授業1 (教員と学生との対話) AL:④ 授業後に進化発展の自主学習 準備学習:「メディアアート」よりコンテンツイノベーターのリサーチ 課題演習:コンテンツ・デザインシート1 関連レポートを予定 (※授業毎に配布する資料/演習シートに記載された内容を参照)
10	メディア&コミュニケーション3 スマートフォンアプリやWebサービスの領域から「ユーザビリティ」をテーマに機能美という考え方や手法を学ぶ。 「UIデザイン/UXデザイン」をテーマにデザインコンテンツを考案する [演習問題] 課題と解説 AL:① 対話型授業1 (教員と学生との対話) AL:④ 授業後に進化発展の自主学習 準備学習:「デザインとユーザビリティ」よりデザインリサーチ 課題演習:コンテンツ・デザインシート2 関連レポートを予定 (※授業毎に配布する資料/演習シートに記載された内容を参照)
11	サブカルチャー・ポップカルチャー1 日本のサブカルチャー・ポップカルチャーのコンテンツの領域から特異な発展を遂げた「漫画」をテーマに古典から現代に至るマンガが持つ独自の表現方法を学ぶ AL:① 対話型授業1 (教員と学生との対話) AL:④ 授業後に進化発展の自主学習 準備学習:「漫画・ゲーム・アニメ」よりクールジャパンコンテンツの各種リサーチ 課題演習:関連レポートを予定 (※授業毎に配布する資料/演習シートに記載された内容を参照)
12	サブカルチャー・ポップカルチャー2 日本のサブカルチャー・ポップカルチャーのコンテンツの領域から 「ゲーム/RPG」をテーマにデザインコンテンツを考案する [演習問題] 課題と解説 AL:① 対話型授業1 (教員と学生との対話) AL:② 対話型授業2 (発表・討論などの学生どうしの対話) AL:④ 授業後に進化発展の自主学習 準備学習:「漫画・ゲーム・アニメ」よりクールジャパンコンテンツの各種リサーチ 課題演習:コンテンツ・デザインシート3/関連レポートを予定 (※授業毎に配布する資料/演習シートに記載された内容を参照)
13	サブカルチャー・ポップカルチャー3 日本のサブカルチャー・ポップカルチャーのコンテンツの領域から 「アニメ/キャラクタービジネス」をテーマにキャラクタープロダクトをテーマに考察を行う AL:① 対話型授業1 (教員と学生との対話) AL:④ 授業後に進化発展の自主学習 準備学習:「漫画・ゲーム・アニメ」よりクールジャパンコンテンツの各種リサーチ 課題演習:関連レポートを予定 (※授業毎に配布する資料/演習シートに記載された内容を参照)
14	クールジャパン 「クールジャパンの現状とコンテンツマーケティング」をテーマに考察を行う AL:① 対話型授業1 (教員と学生との対話) AL:② 対話型授業2 (発表・討論などの学生どうしの対話) 準備学習:最終レポート用の企画書 関連リサーチ 課題演習:最終レポートを予定 (※授業毎に配布する資料/演習シートに記載された内容を参照)
15	授業総括 ・授業総括 課題演習:成績審査書類の提出アナウンス 授業アンケート他を予定 (※授業毎に配布する資料/演習シートに記載された内容を参照)

	※16 ※定期試験該当 学期末指定日までに 単位認定・評価用複写資料 / 「成績審査書類一式」の封書提出 ※ 授業計画に関して※基本シラバスに準じるが、授業や課題進捗による変更がある場合、日程調整を行う場合がある
授業形態	講義、課題演習/レポートの提出 アクティブラーニング：①：10回、②：3回、③：2回、④：11回、⑤：0回、⑥：0回 ① 対話型授業1（教員と学生との対話※） ② 対話型授業2（発表・討論などの学生同士の対話※） （※アクティブラーニングにおける対話型授業は感染防止の観点から電子メール等で対応予定） ③ 反転授業（出題した課題について授業内で解説） ④ 授業後に進化発展の自主学習
達成目標	1) 現代社会におけるさまざまなデザイン領域を理解する。（基礎） 2) デザインの視点で物事を観察し、思考し、発想することができる。（標準） 3) コンテンツ表現に必要な アイデアをカタチにした計画立案の作成ができる。（応用）
評価方法・フィードバック	授業へ参加の姿勢、進捗エビデンス（指定する演習シート・関連レポート類）への取り組み、評価用「成績審査書類（複写物一式）」の提出内容による総合評価。 【進捗エビデンス】 ※授業への参加状況を確認する【エビデンス】の提出を毎回求める。提出内容に不備がある場合、【修正や再提出】を求め、課題発見や改善につなげるフィードバックとする。 ※課題・演習・レポート類は修正指示他に基づき課題原本として完成させること。 【成績審査書類】 ※単位認定に必要な学期末の評価用 / 【成績審査書類】に関して教員への提出用に 各種課題原本（指定する演習シート・デザイン関連作成課題、関連レポート）から直接コピー機でA4【複写】を作成し 学期末に指定する提出期日までに「成績審査書類（複写物一式）」を指定封書にまとめて大学窓口へ提出すること。（提出仔細に関しては別途アナウンスを行う）
評価基準	★各課題は週単位で進捗エビデンスのチェック、フィードバック、修正、ブラッシュアップ等の制作過程の期日提出を重視し成績審査の重点とする。 ★定期試験該当として学期末に完成された評価用「成績審査書類一式」提出内容で成績評価/単位認定を行う。 ※追試/再試は実施しません。 ★成績評価 秀:90点以上、優:89～80点、良:79～70点、可:69～60点、不可:59点以下 ※提出書類の不備・「指定期日の遵守ができない」「修正・再提出（フィードバック）に応じない」「未提出」他がある場合 減点対象となり上記 単位所得点に達しない場合があるので注意。 ※提出書類に不正行為が発覚した場合は、大学に通達し・学期末の評価 をすべて無効(未評価)とする。
教科書・参考書	教科書：なし（授業内で必要に応じてプリント資料を配布する）
履修条件	・授業内でOSやソフトウェア類のオペレーション指導は行いません。 ・レポート課題作成に必要なソフト類（Microsoft/Word等）の操作は 課題実施までに自己学習で対応すること。 ★講義・課題は週単位で進行します。計画的に課題作成に取り組むようお願いします。 ★指定する課題・演習・レポート類の実施および指定期日までの提出が必要です。 ★教員からの連絡確認用に大学学生用 Outlookメールアカウント設定、定期的なメールチェックをすること。 ★大学WEBポータルに掲載される授業・課題掲示関連や出席履歴（出欠調査状況表）定期的なチェックをすること。
履修上の注意	・授業のメモやアイデアスケッチがおこなえる、筆記用具（HB/B鉛筆・消しゴム・定規等） ノート（クロッキー帳等）を必ず持参すること。 ・エビデンス登録、リサーチ課題、レポート作成などで各自所有のノートパソコンでの作業環境が必要となります。 ・課題やレポート等のデジタルデータはデータの消失防止のため、各自適切にUSBメディア等へバックアップを心掛けてください。 （※課題進捗確認の画像エビデンス撮影でスマートフォン等のデジタルカメラを利用します） （※レポート課題の作成でプリンター出力が必要になります。自宅/大学施設/コンビニ等でのプリントサービスを利用してください） （※成績審査書類の作成準備にA4モノクロコピーが必要です。大学施設/コンビニ等での複写コピーサービスを利用して計画的に提出準備を行うこと）

準備学習と課題の内容	演習・課題作成に授業時間内ですべての作業が終わらない場合、復習に相当する授業時間外学習が必要になる場合があります。 自宅での事前リサーチ・課題作成などを通して、より深い認識が持てるよう各自で補習し、見識をもって授業に参加すること。 ★「準備学習」および「課題演習」として授業時間外学習（合計3時間程度）に費やしてください。 ・授業準備の一環としてWEBポータル/レポート登録等の掲示を確認し配布レジュメを一読しておく。 ・講義・課題を通して内容の理解に努める。 ・課題進捗【エビデンス】の提出・チェック。 ・エビデンス内容に不備がある場合【修正・再提出】指示を対象学生へ大学メールで連絡します。定期的なメール確認を怠らないよう。 ★【進捗エビデンス】 ・講義/演習や課題、レポートの実施で理解の定着を図る。 ・授業への参加確認：「課題/演習シート/レポート等の進捗確認のための【エビデンス】（画像やレポートデータ類）を期日までに大学WEBポータルへ提出し、チェックを受ける。 ・課題：演習シート/レポート等は指摘する修正やブラッシュアップをおこない評価資料となる課題原本として完成させる。 ・完成後順次【成績審査書類】として【複写紙面】書式を準備し、封書にまとめる。 ★【成績審査書類】 ・定期試験該当として「成績審査（複写紙面）書類一式」提出内容で成績評価/単位認定を行う。 ※追試/再試は実施しません。 ・単位認定に必要な評価用資料 / 「成績審査書類一式」に関して教員への提出用としてA4サイズ【複写紙面】を各1部作成が必須です。 ・エビデンス進捗チェックを受けた上で：各種課題成果物/演習シート/レポート等の修正・ブラッシュアップを経て完成させた【課題原本】から直接コピー機で複写された【複写紙面】書類を準備。 ・複写された「成績審査書類一式」は計画的に準備し、書類不備・紛失がないよう「角型封書」（角A4封筒）で保持管理をすること。 ・学期末に指定する提出期日までに「成績審査（複写紙面）書類一式」を指定「角型封書」にまとめ大学窓口へ一括提出すること。 ※課題：演習シート/レポート等の【課題原本：自身が鉛筆他で記入した原本紙面や作成データ】は単位認定完了まで本人が保持管理すること。 ※角型封書他で提出された書類一式は返却しない。
ディプロマポリシーとの関連割合（必須）	知識・理解 20%, 思考・判断 20%, 関心・意欲 30%, 態度 10%, 技能・表現 20%
DP1 知識・理解	
DP2 思考判断	
DP3 関心意欲	
DP4 態度	
DP5 技能・表現	